

ラトビアと日本

ツロニン キリル

ラトビアで有名な日本人

ラトビアで有名な日本人は、小島秀夫である。小島秀夫は世界的に有名なゲームデザイナーであるが、ゲームをしない人も彼を知っている。

小島は1998年にソニーのプレイステーション向けの「メタルギアソリッド」コナミをリリースしたことで、彼はステルスアクションゲームのジャンルを開発した世界で最初の人物であった。ゲームのリリースの後、小島はすぐに有名になった。小島は2015年までに「メタルギアソリッド」というシリーズを取り組んだが、会社とケンカをし、コナミから解雇された。解雇された直後、彼は自分のスタジオを作り、すぐに新しいゲームの開発に取り掛かった。

実際、小島は2016年の新作ゲームの発表以来、世界中で有名になった。その理由は、ゲームが発表された後にジョークがあったからである。それは「誰もゲームの内容を理解できなかったので、誰もが「小島は天才だ」と言い始めた」というものである。特にこのことはロシア系のインターネット社会で有名になった。彼に「なぜ小島は天才であるか」という本さえ書かれた。

ラトビアの人は、日本のゲームデザイナーについてというと、必ず小島の話をする。

ラトビアと日本の違い

ラトビアと日本を比較すると様々な違いがある。経済や文化や人生に対する態度などである。ここでは三つ取り上げる。

最も顕著な違いは人口である。日本には一億二千六百万人住んでいる。片や、らとびあには百九十万人住んでいる。人口を比較することで、国の能力を理解することができる。日本のほうがラトビアより経済的に発展した国である。しかし、たとえ日本がラトビアより経済的に発展しているとしても、インターネット速度や接続はラトビアのほうが良く安いのはなぜだろうか。

ラトビアのインターネットがよりも優れている理由の一つは、地理ではないだろうか。ラトビアには地震はない。ラトビアには地震がないので、地震対策を経済に負担をかける必要はない。日本にはラトビアにはない問題が多い。

また、食べ物である。私たちの国の食文化は非常に異なっているので、お互いの国を訪問するとき、食べ物に慣れるのは非常に難しい。

結論として、私たちの国の間の違いを見つけることは非常に簡単であると言うことができる。

悪い習慣

現代の世界では、多くの人が悪い習慣の影響にさらされている。通りを歩いているときにもこれを見られる。多くの場合、たばこやアルコールのボトルを持っている人がいる。

喫煙は世界で最も有名で非常に普及している習慣であり、それを取り除くのはそれほど簡単ではない。誰もが幼児期から喫煙の危険性を認識しているので、最善の解決策は単に喫煙を開始しないことである。しかし、思春期には、人々はほとんどの場合、いつでも辞めることができると考え、これを行う傾向がある。両親の後に繰り返し、より成熟したように見せたい、またはただ楽しみのために煙を出す。

喫煙は人をゆっくり殺すことを理解することが重要である。もちろん、成人期には禁煙は難しいだろうが、意志の力があれば、できる。